

# 看護部教育計画

研修コース		対象者	目標・内容	担当者
基礎教育	新人職員 オリエンテーション	新入職者 レベルⅠ	<ol style="list-style-type: none"> <li>社会的、専門職業人としての自覚を持つことができる。</li> <li>高津中央病院看護部の特性を理解すると共に職場環境の概要を習得することができる。</li> <li>看護技術の実践能力を身に付け意欲的に看護に取り組むことができる。</li> <li>看護の専門性を追求していくためのものの味方・考え方を身につける。</li> </ol>	教育委員会 グループⅠ  看護部
	基本的看護	新人レベルⅠ・Ⅱ		
実践教育	プリセプターシップ	新人レベルⅡ以上	・プリセプターシップについて考え実践し、プリセプター育成と新人教育に役立てる。	教育委員会 グループⅠ
	プリセプターフォローアップ	本年度 プリセプター の任にあたる人	・プリセプターシップの発展により、プリセプティへの教育的効果の向上とプリセプター自身の成長を目指す。	教育委員会 グループⅠ
	メンバーシップ 研修	レベルⅠ・Ⅱ	・メンバーとしての役割を認識し、メンバーシップを発揮できる。	教育委員会 グループⅠ
	ケーススタディ	レベルⅡ・Ⅲ 全看護部	・看護理論に基づいた看護過程が展開できると共に、自己の看護観を確立する。	教育委員会 グループⅠ
	看護過程と記録	看護職員 全員	・看護過程（POS）を理解し、記録を実践に役立てる。	業務委員会
リーダー教育	リーダーシップ 研修Ⅰ	レベルⅢ・Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属の教育プログラムに積極的に参加し、指導者としての役割を果たすことができる。</li> <li>チームのメンバーの能力を把握し、適切な指導ができる。</li> <li>学生の臨床実習を援助し、アドバイスができる。</li> <li>所属の患者、看護スタッフに安全への配慮ができる。</li> </ul>	教育委員会 グループⅡ
	リーダーシップ 研修Ⅱ	リーダーシ ップ研修Ⅰ を受講した もの レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実践者のモデルとして役割を果たすことができる。</li> <li>看護チームメンバーの能力開発、人間性の成長を支援することができる。</li> <li>自己啓発に対する姿勢を継続的に維持できる。</li> </ul>	教育委員会 グループⅡ
	指導者研修	レベルⅢ 以上	・看護教育の目的を達成させるために、臨地実習指導者の資質の向上を図ると共に、個々の学生に合わせた指導をする。	教育委員会 グループⅠ 院外研修参加
管理者教育	師長・主任研修	師長 主任	・病院組織における管理者の役割について認識を深め、職務を遂行するための能力を発揮する。	看護部長 教育企画 担当師長 担当主任
集合教育	看護研究発表会	看護職員 全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学の進歩向上を図り、看護実践の向上を図る。</li> <li>各部署で研究成果を発表し、相互に学びを深め看護サービスの向上を目指す。</li> <li>看護研究を臨床で応用し、継続できる。</li> </ul>	教育委員会 グループⅡ
トピックス	院内セミナー	看護職員 全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療に関する専門的知識・技術を修得し、看護の質的向上を図る。</li> <li>情報の伝達・普及を通して看護業務の質的向上を図る。</li> </ul>	教育委員会 グループⅡ
	合同研修 伝達教育	看護職員 全員	<ol style="list-style-type: none"> <li>看護の必要な最新情報を得る。</li> <li>幅広く教養を含め看護に活かす。</li> </ol>	企画委員会
職種別教育	看護補助者研修	看護助手	<ol style="list-style-type: none"> <li>看護補助者として必要な知識・技術を修得し、看護の補助業務を円滑に遂行する。</li> <li>組織の中で看護チームの一員としての位置付けを知り、役割を果たすことができる。</li> </ol>	企画委員会 担当師長
院外研修	看護学会 日本・県・市看護 協会主催研修会 長期院外研修 准看護師研修	看護職員 全員  選考 准看護師	<ol style="list-style-type: none"> <li>最新の医療及び看護の動向を知り、看護の向上に寄与する。</li> <li>各キャリアに応じた専門の機能の向上に努め、看護実践に役立てる。</li> <li>情報の伝達・普及を図る。</li> <li>看護研究を進め、院外に広めることができる。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健師、助産師、看護師の専門的知識・技術を身に付け看護の向上に寄与する。</li> <li>患者の理解を深め、看護師としての役割を果たすことができる。</li> </ul>	